

令和4年度 事業報告書



ボランティアマルシェ in キラリエマツリ（点字体験のようす）

目次

【総括】	・・・	1
【事業報告】		
（1）福祉の風土づくり	・・・	3
（2）住民主体の活動づくり	・・・	9
（3）新たな絆をつむぐまちづくり	・・・	24
（4）住み慣れた地域で安心して暮らしつづけることができる体制づくり	・・・	31

社会福祉法人草津市社会福祉協議会

1. 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けた年度でした。年度当初、新規感染者数は少なかったものの、7月にはこれまでの波をはるかに上回る爆発的な勢いで第7波の感染拡大があり、さらに年末に向けては第8波の感染拡大があるなど、市社協・学区社協ともに活動の中止・延期や活動内容の変更を余儀なくされたところです。

令和5年1月以降、新規感染者が減少傾向となり、5月8日には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが引き下げられるなど、日常を取り戻す動きが始まっています。

このような中、草津市社会福祉協議会は、コロナ禍の活動制限もありましたが、令和4年度から第4次地域福祉活動計画（令和4年度から5カ年計画）に基づく活動をはじめました。実施にあたりましては、市や県等の行政機関や、県社協やその他の関係団体と協力を図りながら、様々な事業の展開を図っております。

今後は、コロナ禍での経験も踏まえた、計画の着実な実行に取り組み、基本理念である「誰もが ころろ温かく支えあい 住みつけたい 福祉のまち・くさつ」を目指し取組を進めてまいります。

重点項目への取組

地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発

- ・ホームページのリニューアルを行い、見やすいホームページ作りに努めました。多くの方に社協を知っていただき、最新の情報に触れていただけるように情報の発信を行いました。

地域福祉活動の担い手づくり

- ・地域福祉活動推進のため、草津市福祉教養大学や大学院を開講し、活動を支えていただく人材の育成に努めました。また、コロナ禍においても地域の福祉活動を進める事業や活動を助成しました。

地域で支えあう仕組みづくり

- ・地域福祉活動を進めていくための、地域で支え合う仕組みを推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、医療福祉を考える会議の支援を行いました。

若い世代のボランティア活動のきっかけづくり

- ・ペットボトルキャップやプルトップの収集など、身近なところから始められるボランティアを通してボランティア活動に興味を持っていただき、ボランティア活動の参加者を広げる取組を進めました。

新たなボランティア発掘の仕組みづくり

- ・ボランティアに関心をもつ人を増やすため、キラリエ草津でボランティアマルシェを開き、ボランティア活動の紹介を行いました。また、草津市福祉教養大学や大学院の卒業生が立ち上げたボランティアグループに助成を行い、グループの活動拡大を支援しました。

分野を超えたつながりづくり

- ・福祉だけではなく、地域の企業や学校、各種団体とつながり連携を図ることで、地域の課題や地域の活動を協働で行う取組を進めるため、「まごころ便」事業や、ふくちゃんプロジェクトへの企業の参加など、つながりの輪を広げました。

学区社協をはじめとした地域福祉活動支援

- ・地域福祉活動の拠点となる学区社協を支援し、地域で活動する団体の協力も得ながら地域福祉活動の展開を図りました。

ボランティアセンターの機能強化

- ・ボランティア活動が活性化するように、ボランティアニーズの調整やマッチング、ボランティアのPRなど、ボランティアセンターがボランティア活動の拠点となるよう取組を進めました。

包括的な相談体制の構築

- ・心配ごと相談所の周知・啓発を行い、悩みを抱え込まないよう取組を進めました。また、各種資金の貸付を通し相談を行いました。

地域福祉活動推進に要する財源確保

- ・地域福祉活動を応援いただく賛助会員を増やすとともに、市社協会費制度の理解と協力を深めていただく取組を進めました。

2. 事業報告

I. 住民主体の福祉のまちづくり ～参加と協働の地域福祉活動の推進～

基本目標 1 福祉の風土づくり

～福祉の風土を広げ、地域のくらしの課題を他人ごととしない、
地域福祉力の向上をめざします～

福祉教育や啓発活動の充実に取り組み、尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土を広げ、課題を受け止め支え合いの活動を進めます。

(1) 地域福祉に関する新たな周知啓発方法の開発 **重点**

見える社協、魅せる社協活動をめざして積極的な広報啓発を行い、住民への周知・啓発を行うことで、地域の取組に関心をもつ人を増やし、地域の福祉力アップを図ります。

● 広報紙「社協くさつ」発行事業

1,641,466 円

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市社協事業や住民の福祉活動の啓発に努めました。

- 令和4年7月1日号（No. 173） …草津市福祉教養大学、令和3年度決算、令和3年度草津市社会福祉協議会賛助会員の紹介、令和4年度草津市社会福祉協議会の主な事業
【発行部数 4,325部（回覧）】
- 令和4年9月1日号（No. 174） …赤い羽根共同募金、ランチボックス、ボランティアマルシェ、地域サロン交流会、新型コロナウイルス特例貸付の返済・償還免除手続き、日本赤十字社活動、地域福祉権利擁護事業、ホームページリニューアル
【発行部数 58,350部】
- 令和4年11月1日号（No. 175） …第4次草津市地域福祉活動計画、民生委員・児童委員、災害ボランティアセンター研修会、学区社会福祉協議会応援まごころ便、赤い羽根共同募金運動、令和4年度歳末たすけあい見舞金
【発行部数 58,400部】
- 令和5年3月1日号（No. 176） …社会福祉功労者表彰、つながり紡ぐ☆ハッピーチャレンジ事業、令和4年度草津市社会福祉協議会会費ご協力お礼と賛助会費のご紹介
【発行部数 58,500部】

○ 毎号のお知らせ

- ・フードドライブ
- ・心配ごと相談所
- ・災害義援金・救援金
- ・送迎ボランティア募集
- ・ふくちゃんプロジェクト
- ・草津市社協チューリップ事業
- ・送迎ボランティア募集
- ・心配ごと相談所
- ・はーいボランティアセンターです
- ・紙おむつ等お渡しのお知らせ
- ・ご寄付ありがとうございました
- ・電話訪問事業

● **ホームページ運営事業** 275,000 円

今年度は、多くの方により見ていただき社協を知っていただけるよう、ホームページをリニューアルしました。

ホームページの更新やトピックス枠にて、市社協事業や地域のイベント・フードバンクや寄付金等の最新情報を発信し、募集啓発と実績の報告に努めました。

○令和4年4月1日から令和5年3月31日までのホームページ閲覧状況
アクセス総数…57,298件

● **近所力アップ講座（出前講座）**

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士のつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	志津	令和4年 12月11日（日）	「ピカッと草津」について	山寺・ 山寺新田町内会	13人

● **「広報くさつ」点字版作成・配付事業** 367,000 円

視覚障害があり、「広報くさつ」点字版の配付を希望される方に点訳し、郵送しました。点訳は草津点字グループ「あゆみ会」にお願いしました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	3人	48部
障害者福祉センター	1カ所	24部

< **関連する事業** >

- ・福祉教育の推進
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(2) 若い世代に福祉風土を広げる

特に若い世代を対象に、福祉教育やボランティアのきっかけづくりに取り組むことで、小さいときから福祉を身近に感じてもらい、若年層の福祉風土を広げていきます。

● **社会福祉功労者表彰式典** 238,423 円

長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援するとともに、社会福祉の向上のため寄付された個人や団体に感謝の意を表しました。

また「滋賀県共同募金会会長顕彰」として、長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され、本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された個人や団体の表彰と、赤い羽根共同募金運動に多額のご寄付をされた個人・団体に感謝の意を表しました。

開催日：令和4年11月19日（土）
場 所：草津市役所 2階特大会議室

【社会福祉功労者表彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	民生委員・児童委員として9年以上地域福祉活動の推進に寄与された方々	38人
	長年にわたり社会福祉協議会、社会福祉施設および民間社会福祉事業関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に尽力された方々	4人
	長年にわたり率先して活動を行い、社会福祉活動の推進に寄与した者	11人
	長年にわたり社会福祉活動の推進に寄与した団体	7団体
	長年にわたり社会福祉の向上のため多額の寄付をいただいた者	1人
	福祉活動推進校として授業および活動等に尽力された学校	2校
感謝状	社会福祉の向上のため寄付をいただいた方々	2人
	社会福祉の向上のため寄付をいただいた団体	1団体

【滋賀県共同募金会会長顕彰】

	内 容	被表彰者
表彰状	長年にわたり共同募金運動の推進に尽力され本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された団体	3人
		1団体
感謝状	赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同して毎年寄付をされ本県民間社会福祉事業の発展に大きく貢献された法人	1人
		9団体

●福祉教育の推進・ボランティア体験教室

56,100円

ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室や、学校等の福祉教育を支援しました。また、小中学校の子ども達への福祉教育の推進を目的として「福祉教育のてびき」を作成し、福祉教育を実施する際に子ども達や教師にお渡ししました。

	実施回数	実施内容 内訳					
		車いす体験	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	視覚障害者の理解	高齢者疑似体験等
小学校	24	1	5	11	3	1	3

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発

(3) 住民どうしが互いに見守り・気にかけてあう関係を広げる

住民どうしがつながり合い、お互いを見守り・気にかけてあう関係をつくることで、日々の生活や地域の困りごとに気づく人を増やし、地域の福祉力の向上に努めています。

●チューリップ（つながりサポート）事業

3,572,337円

コロナ禍において、貧困・孤立・孤独により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の配付を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、地域の支援者につなげました。また、連携会議や研修会を実施し、地域の居場所開設など、施策連携・公民連携・地域連携の3連携による支援体制の強化を図りました。

【生理用品配布窓口一覧（18カ所）】

キラリエ内	◎草津市社協	男女共同参画センター	人権センター
市役所内	◎人とくらしのサポートセンター	子ども家庭・若者課	家庭児童相談室
	健康増進課	生活安心課	
その他施設	ハローワーク草津	障害福祉センター	発達支援センター
	フードバンク滋賀		
地域窓口拠点	ゆかい家	ふれあいハウス絆	南笠東まちづくりセンター
	志津まちづくりセンター	玉川まちづくりセンター	新田会館

◎は食料品も提供

○提供実績（令和4年4月～令和5年3月）

提供数（1セット（昼用22個入り×1パック・夜用9個入り×1パック））

・867セット

・個包装 1,037個（キラリエトイレ設置）

・小中学校：10,732個（20校）

○関係機関会議2回開催（18機関）

○研修会（ひきこもりについて考える 91名参加）

○居場所開設（草津学区社協活動拠点ゆかい家にて）

・レディースカフェ開催（週2回）

・ポーセラーツイベント開催（5回）毎回約10名参加

・明るい不登校の会（月1回）毎回9名～13名参加

・相談者5名

○寄付実績（令和4年4月～令和5年3月） 702個

（企業・関係機関：443個 個人：119個 市役所寄付BOX：15個

他（ボランティアさん等）125個）

●ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業 100,000円

多くの市民の方に、草津市のひきこもりの現状や社会背景を知っていただくことでひきこもりへの理解者を増やし、地域で連携して支えることができる地域づくりを推進していくこと、「自分たちには何ができるのか」を考えるきっかけづくりにしていくことを目的に講演会を実施しました。多くの参加者があり、アンケートの結果からも「ひきこもりの見方が変わった」、「理解ができた」などの声があり、ひきこもりについて少しでも多くの方に知っていただく機会となりました。また、講演を聞いて何かできること

が見つかったと回答された方が67%で「地域の見守りなどアンテナを張ることを心掛けたい」、「知ること・意識することで今後の福祉活動に活かしたい」など講演を聞いたことで多くの方が自分にできることを探すきっかけにつながりました。

○「ひきこもりについて考える～地域としてできること～」講演会

日付	内容・講師	参加者
令和5年2月7日(火) 14:00～16:00	「ひきこもりについて考える ～地域としてできること～」 講師：・フリータイム 相談員 公文優子さん ・KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 理事 池上正樹さん	91名

●社会を明るくする運動

110,000円

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で各関係機関・各団体が運動に関する啓発と作文コンテストを実施しました。

協力団体：草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区・区社会福祉協議会会長会

○街頭啓発

草津駅、南草津駅にてのぼり旗を掲出し、啓発の呼びかけを行った。

また、7月1日には草津駅・南草津駅前にて協力団体とともに令和元年以来3年ぶりにウェットティッシュ等啓発品を配布し、該当啓発を実施した。

○作文コンテスト

応募校：1校（新堂中学校）

応募作品数：1点

●地域サロン活動支援

10,769,000円

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支え合う関係づくりの構築を目的として、高齢者の介護予防と自立を促進するためにサロン活動の拡充に努めました。

- ・新たに設置された地域サロン 4団体
- ・解散した地域サロン 4団体
- ・運営相談並びに情報提供 152件
- ・地域サロン訪問 5件
- ・地域サロンとボランティアの需給調整 17件

【年度別サロン数】

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
157サロン	157サロン	158サロン	155サロン

【地域サロン参加者・活動者状況】

	令和4年度	令和3年度
年間参加者延べ人数	62,164人	52,872人
年間運営ボランティア数	19,962人	15,149人

【学区別地域サロン開催状況】

学区・区	開催数（団体）					運営 ボランティア数 （人）	参加者 （延べ人数） （人）
	0~4	5~9	10~14	15~19	20以上		
志津	1	0	1	0	13	1,712	5,543
志津南	0	0	1	1	7	3,093	6,161
草津	0	0	0	0	13	2,257	7,945
矢倉	0	0	0	0	9	1,063	4,896
大路	0	0	3	1	8	737	3,988
渋川	0	0	1	0	9	1,402	2,993
老上	1	0	1	0	6	886	4,026
老上西	1	0	0	0	5	426	3,756
玉川	0	0	0	0	10	1,658	4,203
南笠東	0	0	2	0	3	427	1,103
山田	0	0	2	0	16	2,208	6,017
笠縫	1	1	2	0	13	2,058	7,247
笠縫東	0	0	3	1	5	958	1,415
常盤	1	0	3	1	11	1,077	2,871
計	5	1	19	4	128	19,962	62,164

●地域サロン交流会

257,807円

今年度は、高齢者部門の仕事に関することを地域包括支援センター、市地域保健課、ケアマネジャーの方に話していただき、気軽に相談できる方々が身近にいることを感じていただきました。また、交流会では市の長寿いきがい課や各地域包括支援センター、草津市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーなどの方々も交え、サロン参加者62人と「地域サロンの魅力」について活発に話し合っていたいただき、当日来ていただいた専門職の方々に公的機関や制度では補えない支え合い活動の大切さを感じていただきました。

最後に、ボランティアグループ手作りの小物入れや企業からご寄付いただいたマスクや雑巾、学区社協会長からの応援メッセージ等が入った「地域サロン応援クリスマスまごころ便」をお渡ししました。

開催日：令和4年12月16日（金）13：30～15：00

場 所：キラリエ草津 6階大会議室

内 容：①知ってそうで知らない世界 いろいろリレートーク

「地域包括支援センター、保健師、市長寿いきがい課、ケアマネジャーの仕事を知ろう！」

②交流会「テーマに応じて楽しくおしゃべりしましょう！」

参加者：92人

<関連する事業>

- ・近所力アップ講座
- ・福祉委員設置促進
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

基本目標 2 住民主体の活動づくり

～地域の困りごとを話し合い、未来に向けた人づくり・活動を考える～

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けての地域福祉力向上を図るため、人づくりと支えあう体制づくりを進めます。

(1) 小学校区を基盤とした地域福祉力の向上

身近な地域の集まりである町内会が所属する小学校区を、重要な地域のまとまりとして据え、小学校区の地域の特徴を踏まえた上で、地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎をなす人づくり、支えあう体制をつくりまします。

(1-1) 地域福祉活動の担い手づくり 重点

地域福祉を推進するため、各学区の地域福祉活動の基礎となる人づくりを、より一層進めます。

●第5回草津市福祉教養大学

631,548 円

地域の担い手不足と言われている現状を打破し、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に「福祉教養大学」を実施しました。今年度は「共感・共鳴・共生 ～共に気づき 共に感じ 共に動く～」をテーマに、幅広い分野の講師に講演いただき、今まで福祉に興味がなかった方にも多くご参加いただきました。また、5講座全てを受講された方々には、卒業証書を授与し、今後の活動の励みにしていただきました。

【第5回草津市福祉教養大学 基礎課程】

延べ参加者：157人

	開催日	内容・講師	参加者
入学式 第1講座	令和4年 8月25日(木)	「写真が語るいのちのバトンリレー」 ・講師：写真家・ジャーナリスト 國森康弘さん	25人
第2講座	9月15日(木)	「老いを支える医師から見た人生観」 ・講師：おぐまファミリークリニック 院長 小熊哲也さん	31人
第3講座	10月 3日(月)	「暮らしの問題を実感しよう」 ・講師：立命館大学経済学部特任教授 佐藤卓利さん	29人
第4講座	11月17日(木)	一部「地域共生社会の実現に向けた思い」 ・講師：厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 小村真央さん 生活困窮者自立支援室 米沢秀典さん 二部「健幸に生き抜く力」 ・講師：浜本内科医院院長 浜本徹さん	21人
第5講座	令和5年 2月 2日(木)	「草津市の魅力を発見 ～くらし、ささえる、地域のつながり～」 * (公財)草津市コミュニティ事業団「ひと とまちの未来をつくるカレッジ2022」 との合同開催	33人

		<p>【コーディネーター】 合同会社喜代七代表 山元圭太さん</p> <p>【パネリスト】</p> <p><志津学区> 志津まちづくり協議会 事務局長 政川純子さん</p> <p><山田学区> 山田学区まちづくり協議会 企画グループ ヤマミラ 檜根祐子さん、松浦広明さん、 杉江信哉さん</p> <p><笠縫東学区> ・笠縫東学区社会福祉協議会会長 深田圭一さん ・デイサービスだんらの家 代表取締役 奥村始さん ・草津市社会福祉協議会 伊藤美紗都</p>	
卒業式・ 大学院実践発表会	3月20日(月)	<p>卒業式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、大学院卒業証書授与、卒業生と講師代表あいさつ <p>大学院実践発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の実践のあゆみ発表、大学院生より一言発表 	18人

*第5回草津市福祉教養大学卒業生 11人

【第4回草津市福祉教養大学 大学院】

これまでの5講座すべてを受講された方がさらに活動を実践していく場として、大学院を昨年度に引き続き開校しました。

今年度は、新たに市内高齢者福祉施設に対するボランティアニーズの掘り起こしとボランティア同士の交流をテーマに課題活動を設定しました。草津市ボランティア連絡協議会との連携・協力、令和3年度に大学院生により立ち上がったボランティアグループ「フリーダム」とも連携しながら、市内高齢者福祉施設へボランティアニーズの調査へ出かけたり、「ボランティアマッチングボード」を作成し、ボランティアがボランティアを紡ぐ市民目線のボランティア拡大事業を大学院の実践活動課題として、大学院生と事務局（市社協）で伴走しながら進めました。

実践活動

① 市内高齢者福祉施設に取材へ行こう

<取材先>

- Aチーム：特別養護老人ホーム えんゆうの郷、
小規模多機能型居宅介護事業所 こころね
- Bチーム：リハステーション草津デイサービス、
通所介護ステーション ハーモニー
- Cチーム：小規模多機能型居宅介護事業所 心、
地域密着型通所介護事業所 心のほとり
- Dチーム：特別養護老人ホーム やわらぎ苑

② ボランティアマッチングブース開設作業（キラリエ草津4階交流スペース）

【大学院 活動日】

	開催日	内容	参加者
Practice 1	令和4年 8月 8日 (月)	市社協や大学院の意味のことを知ろう！	7人
Practice 2	令和4年 9月 2日 (金)	ボランティアの現状について知り、一緒に活動しよう！	7人
Practice 3	令和4年 10月 5日 (水)	大学院生の仲間で施設ボランティアニーズを聞きに行こう！	6人
実践活動①	令和4年 10月24日 (月) 26日 (水) 28日 (金)	活動を実践しよう！① ～市内福祉施設に取材へ行こう～	7人
Practice 4	令和4年 11月30日 (水)	取材の結果を報告して大学院生みんなで共有しよう！	7人
Practice 5	令和5年 1月31日 (火)	ボランティアグループとコラボしよう！	7人
実践活動②	令和5年 2月28日 (火)	活動を実践しよう！② ～「ボランティアマッチングブース」を作ろう～	5人
Practice 6	令和5年 3月 7日 (火)	実践活動の振り返りと実践発表会の準備をしよう！	7人

*第4回草津市福祉教養大学大学院卒業生 7人

●地域福祉活動助成

3,640,000円

地域の支えあい活動を推進するため、「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係団体間の交流」等の地域福祉活動を展開する補助金を学区社協へ交付しました。

また、個人・企業から集まった賛助会費について、地域の特徴を生かした学区社協活動へ助成を行いました。

●コロナでつながりを広げる補助金助成

340,000円

コロナ禍でも「住民同士がつながる」ことを目的に実施している学区社協事業や地域福祉活動の他、コロナ禍で新規に立ち上がった学区社協事業に協力するボランティアグループへの支援または、新たな担い手やボランティアの拡大をするための事業・活動について助成をしました。採択にあたっては、市社協で助成先を決定し、交付しました。

<コロナに負けるな学区社協応援補助金 (35,000円/学区)>

○申請学区…8学区

○採択学区…8学区

No.	学区	事業名
1	志津	志津子ども食堂「くすのきレストラン」事業
2	志津南	かがやきの丘「ふれあい広場」
3	草津	つながりサポート事業「明るい不登校」
4	矢倉	コロナに負けずにふれあいの場づくり事業
5	大路	大路区子ども食堂

6	玉川	高齢者ふれあいサロン
7	山田	ふれあいカフェ「やまだカフェ」
8	常盤	地域活動支援事業

<コロナ禍でも立ち上ろうボランティア活動グループ応援補助金(30,000円/学区)>

- 申請学区…2学区
- 採択学区…2学区

No.	学区	事業名
1	志津	志津子ども食堂「くすのきレストラン」 ボランティアグループ立ち上げ
2	大路	担い手・ボランティアを発掘するための研修事業

●福祉委員設置促進

59,999円

「福祉委員の手引き」をもとに学区社協との協働により学習会を開催し、福祉委員活動が効果的に行われるよう支援しました。また、福祉委員活動をより円滑に進められるよう、希望される学区に市社協会長と学区社協会長の連名で委嘱状を交付しました。

【研修支援】

合計参加者：100人

No.	学区	開催日	内容	依頼団体	参加者
1	草津	令和4年 6月14日(火)	福祉委員の役割について	草津学区社協	26人
2	山田	令和4年 5月9日(月)	福祉委員の役割について	山田学区社協	20人
3	笠縫	令和4年 8月30日(火)	福祉委員の役割について	笠縫学区社協	54人

市内合計9学区424人のうち、委嘱状交付学区は4学区・合計135人。

・草津学区 24人 ・老上学区 24人 ・老上西学区 33人 ・笠縫学区 54人

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援補助金

(1-2) 地域で支えあう仕組みづくり 重点

くらしの課題を共有し、課題の解決に向けた地域福祉活動を進めていくことで、地域で支えあう仕組みを推進します。

●生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員の配置と協議体の設置）

20,737,000円

○医療福祉を考える会議の支援

「生活支援体制整備事業」を市から受託し、事業の展開にとって極めて重要な場である医療福祉を考える会議の充実と、新たな学区での医療福祉を考える会議の立ち上げの促しを支援しました。また、地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）を配置し、医療福祉を考える会議に積極的に関わり、地域づくりの支援を行いました。

また、学区住民に医療福祉を考える会議の周知・啓発を行うため、広報紙「社協くさつ」や市社協ホームページにて会議の様子の記事を掲載しました。

学区	開始年度	令和4年度			延べ本番会議開催数
		主なテーマ	本番会議開催数 (会議開催にあたる打合せ等の支援回数)		
志津	H27	認知症になっても、志津のみんなが安心して住み続けることができるためには何をすれば良いか考えよう	3回	(48回)	25回
志津南	R2	医療福祉を考える会議の方向性の検討と継続への支援	0回	(16回)	2回
草津	H30	草津学区の健幸を語りあうプロジェクトを進める上での関係団体との協力体制について	0回	(7回)	4回
大路	未実施	支えあいの機運を高める	—	(2回)	—
渋川	H27	「出張しぶはなちゃん健康相談サロン」の開催に向けて	1回	(16回)	10回
矢倉	H27	居場所を広げよう	0回	(15回)	12回
老上	H24	ピカッと草津	1回	(10回)	20回
老上西	H24	認知症予防について地域でできることを見つけよう！	2回	(23回)	21回
玉川	H29	住民福祉活動計画	2回	(67回)	12回
南笠東	H28	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める	1回	(9回)	8回
山田	H25	第2回地域サロンと事業所の交流会	1回	(45回)	22回
笠縫	H28	見守りの体制づくり	6回	(67回)	33回
笠縫東	H24	ピカッと草津	1回	(48回)	20回
常盤	H27	学区で最期まで自分らしく生きるには	1回	(22回)	11回
合計			19回	(395回)	200回

○地域資源リスト（みんなの生活 キラリ☆まもリスト）の作成、活用

少子高齢化が進み、一人暮らしやさまざまな支援の必要な方等が地域で孤立することなく、安心して暮らしていける一助となることを目的とし、身近なところでの住民の方々の支え合い活動や集まりの場などの情報を収集し、了承いただいたものを令和2年度にリスト化し、支援の必要な方等からの相談があった際に活用いただければと、令和4年度版として改訂したのち、市内の地域包括支援センターやケアマネジャーへ配布しました。

また、各学区の医療福祉を考える会議や地域ケア個別会議、各圏域ケアマネジャー交流会等で、地域資源を紹介する際等にて活用しました。

○研修への参加

外部で実施される研修会に参加し、地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）としてのスキルアップを図りました。

開催日	研修名	内容	参加者
令和4年 6月29日（水）	令和4年度滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「地域福祉の推進における生活支援コーディネーターの役割」 ・事例報告「大津市における生活支援体制整備事業の進め方と役割について」 	1人

○地域包括支援センター、市等との連携

地域づくりは関係機関との連携が不可欠であるため、特に地域に入っていく中心を担う圏域地域包括支援センター・市・市社協で、医療福祉を考える会議の本番会議の前に、三者で事前会議を十分に行い、丁寧な会議の開催に努めました。

また、地域包括支援センターが実施する地域ケア個別会議に随時参加し、生活支援コーディネーターとしての視点を用いながら多職種連携を高めるとともに、支援を必要とする高齢者のニーズの把握に努めました。

○市と市社協の連携強化

地域保健課、長寿いきがい課などと毎月調整会議を実施し、事業展開について協議しました。

●地域支え合い運送支援

350,629円

地域の活動団体が主体となって実施する移動困難者のボランティア運送支援事業を支援するため、活動者や、活動に関心のある市民を対象とした安全運転講習会の実施、また、令和5年1月よりアルコール検知器によるアルコールチェックを開始し、安全に事業運営していただけるよう努めました。

○実施学区

- ・志津南学区（事業主体：志津南学区まちづくり協議会）
※平成26年9月より事業実施【ダイハツタントを貸与】
- ・山田学区（事業主体：山田学区社協）
※平成26年11月より事業実施【トヨタヴィッツを貸与】
- ・老上学区・老上西学区
（事業主体：老上学区社協・老上西学区社協）
※平成30年4月より事業実施【ダイハツタントを貸与】
- ・南笠東学区（事業主体：南笠東学区社協）
※令和2年10月より事業実施【ダイハツタントを貸与】

	志津南		山田		老上・老上西		南笠東	
事業主体	志津南学区 まちづくり 協議会		山田学区 社会福祉協議会		老上学区・ 老上西学区 社会福祉協議会		南笠東学区 社会福祉協議会	
実施主体	志津南学区 社会福祉 協議会				老上送迎サポート		南笠東学区 まちづくり 協議会	
年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 3年度
利用 登録者数	25人	20人	28人	24人	40人	40人	143人	135人
延べ 送迎人数	95人	28人	270人	121人	124人	115人	289人	285人
送迎 ボラ人数	8人	8人	11人	9人	10人	10人	5人	6人
送迎日数	80日	41日	150日	121日	124日	115日	196日	230日
走行距離	1,000 km	526 km	1,996 km	1,223 km	1,089 km	1,040 km	5,579 km	6,180 km
送迎先	近隣 病院 地域の 会館	近隣 病院 地域の 会館	まちづくり センター	まちづくり センター	近隣商業 施設 近隣病院	近隣商業 施設 近隣病院	近隣病院 公共施設 近隣商業 施設	近隣病院 公共施設 近隣商 業施設

○安全運転講習

開催日：令和4年11月29日（火）

場 所：市民総合交流センター キラリエ草津5階（502・503）

内 容：・講話「警察署から専門的指導と助言」

講師：草津警察署 交通第1課 巡査部長 井畑 慶祐さん

・地域支え合い運送、福祉車両貸出事業について

・アルコール検知器について

・ボランティア同士の交流会

対象者：福祉車両貸出事業登録運転ボランティア

地域支え合い運送支援事業実施学区の送迎ボランティア

福祉車両貸出事業や地域支え合い運送支援事業に関心のある市民

参加者：22人

●草津フードバンクセンター

253,500円

生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動の推進に努めました。また、企業や個人にとっては、フードバンク事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという善意の循環システムの構築を図りました。令和4年度では、市社協が移転をして足を運びやすくなったことや周知啓発により多くの方に知っていただいたこととお米の寄付が増加しました。

なお、より多くの方にフードバンク・フードドライブの活動を周知し、推進していくために、フードドライブの時期に公共交通機関のアクセスの良い場所に食品集積所として、「移動フードドライブ」の設置を各学区・区社協に呼び掛けたところ、5学区のまちづくりセンターで実施することができました。

他にも、カーブスアルプラザ草津、イチバン・コーポレーション、オムロン株式会社草津事業所などの企業にもご協力いただき、多くの市民の方にフードバンク事業を周知すると同時に多くの食品が集まりました。

ご寄付いただいた食品は、以下の団体に受け渡しました。

○子どもたちなどを対象にしている団体・施設への支援（1団体）

- ・矢倉学区社会福祉協議会「にこにこレストラン」

○学区社会福祉協議会への支援（8団体）

- ・志津学区社協
- ・志津南学区社協
- ・草津学区社協
- ・矢倉学区社協
- ・大路区社協
- ・老上学区社協
- ・老上西学区社協
- ・笠縫東学区社協

○高齢者施設（16団体）

- ・特別養護老人ホームゆうすいのさと
- ・メディケア湖南居宅介護支援事業
- ・社会福祉法人 若竹会
- ・特別養護老人ホーム カーサ月の輪
- ・居宅支援事業所 きらら
- ・NPO法人グループホーム ケアホームゆかの里
- ・特別養護老人ホーム 茜の郷
- ・フェイス小規模多機能型居宅介護
- ・特別養護老人ホーム ぼぷら
- ・特別養護老人ホーム やまでら
- ・グループホームたちきの実
- ・特別養護老人ホーム えんゆうの郷
- ・生活介護事業所 輝
- ・特別養護老人ホーム 菖蒲の郷
- ・特別養護老人ホーム 第2菖蒲の郷
- ・社会医療法人誠光会 介護老人保健施設草津ケアセンター

○障害者施設（20団体）

- ・NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター就労継続支援B型事業所 JALAN
- ・NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター共同生活援助事業所 RUMAH RUMAH
- ・社会福祉法人にぎやか会 にぎやか工房
- ・就労継続支援B型事業所 こなんSSN
- ・就労継続支援B型事業所 シエスタ
- ・ベーカリーカフェ脇本陣
- ・社会福祉法人若竹会 ワークステーションわかたけ
- ・自立訓練（生活訓練）就労継続支援B型事業所 フリータイム
- ・重症心身障害者通所施設ピアーズ
- ・社会福祉法人よつば会 障害福祉サービス事業所 むつみ園
- ・滋賀県立信楽学園
- ・ホームばとん
- ・びわこ学園医療福祉センター草津
- ・NPO法人 きらら
- ・NPO法人元気っずミーオ
- ・わかたけ作業所
- ・重症心身障害者通所施設 かなえ
- ・NPO法人アイ・コラボレーション
- ・スマイルくさつ
- ・びわこ学園

○地域で福祉活動をされている団体（5団体）

- ・草津市赤十字奉仕団
- ・フードバンク滋賀（生活困窮世帯への支援活動）
- ・母子福祉のぞみ会
- ・まちのコミュニティハブ ツナグ
- ・NPO法人ユウアンドアイ

○その他団体（2団体）

- ・ココルひろば
- ・こばと子ども家庭サポートセンター

○生活に困窮されている世帯への緊急食糧支援

（移動フードドライブ）

場 所	時 期
老上まちづくりセンター （カフェほっこり）	毎月1回カフェほっこり開催時 春のフードドライブ期間 5/18～5/20
山田まちづくりセンター	夏のフードドライブ期間 6/7～6/21 秋のフードドライブ期間 11/12～11/28
市役所2階 （健康福祉政策課内）	秋のフードドライブ期間 9/20～9/30 冬のフードドライブ期間 11/21～11/30
南笠東まちづくりセンター	秋のフードドライブ期間 10/8～10/22
ゆかい家	冬のフードドライブ期間 11/15～11/20

（寄付食品、寄付者一覧）

期間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1～5回 合計	
	春	夏	秋	冬	冬以降		
	4/1～ 5/30	6/1～ 7/31	8/1～ 9/30	10/1～ 11/30	12/1～ 3/30		
寄付食品	米	122.9kg	375.3kg	681 kg	1259.6kg	463.18kg	2901.98kg
	米以外	134品	325品	602品	1816品	1,898品	4,775品
寄付者 （移動 フード 含む）	団体	1件	4件	5件	11件	12件	33件
	個人	13件	19件	36件	42件	63件	173件
	合計	14件	23件	41件	53件	75件	206件

（米以外寄付食品内訳一覧）

	米以外（品）											米以外 合計 （品）
	乾 麵	乾 物	粉 類	缶 詰	レ ト ルト	食 用 油	ル ー	調 味 料	菓 子	飲 料	そ の 他	
米以 外の 食品	652	293	47	189	512	20	48	475	316	476	1747	4,775

●関係団体への支援

119,600円

関係団体が実施する事業に対し助成を行い、活動を支援しました。

- 草津市老人クラブ連合会関係活動事業補助金（草津市老人クラブ連合会 72,000円）
高齢者を対象とする健康増進事業に対する助成により活動を支援
- 知的障害者社会参加自立支援事業補助金（草津手をつなぐ育成会 40,000円）
共同作業所で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動への支援
- 中途視覚障害者支援事業補助金（草津市視覚障害者協会 7,600円）
中途視覚障害者を対象とする交流会事業等への支援

●福祉機器リサイクル（貸出事業）

149,000円

病気や怪我などで必要とされる方の便宜を図るため、不要になった福祉用具のリサイクル事業を実施し、3か月を基準として最長6か月以内の期間で福祉用具を貸出しました。

また、市民の皆さまの善意により、ご寄付いただいたオムツ・リハビリパンツ・尿とりパッドを必要な方へお渡ししました。

貸出備品	令和4年度	令和3年度	令和2年度
車椅子	154回	139回	164回

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・高齢者への電話訪問事業
- ・まごころ便
- ・福祉車両貸出

（1－3） 住民福祉活動計画の推進

地域住民と市社協がともに、同じ理念のもと、地域福祉活動に取り組めるよう、各学区の課題を把握しながら、住民福祉活動計画を策定し、未来に向けた地域福祉の推進を図ります。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

14学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、学区社協活動に参加・協力、支援をしてきました。特に近年、広がりを見せる医療福祉を考える会議では、打ち合わせ会議や振り返りの会議に参画し、住民が高齢者に関する生活問題について、専門機関と情報を共有し、新たな気づき生まれ、地域福祉活動に広がりや深みができるよう支援しました。

学区・区	令和4年度支援回数	主な支援内容
志津	48回	・医療福祉を考える会議への支援 ・「ぷらっと茶屋」「くすのきレストラン」への支援
志津南	42回	・ふれあいハウス絆への支援 ・医療福祉を考える会議への支援
草津	11回	・立ち寄りカフェゆかい家への支援 ・福祉委員研修会への支援
矢倉	20回	・ふれあい喫茶憩への支援 ・矢倉にここレストランへの支援
大路	18回	・学区社協事業への支援
渋川	17回	・医療福祉を考える会議への支援
老上	80回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援

老上西	23回	・医療福祉を考える会議への支援 ・老上送迎サポートへの支援
玉川	113回	・医療福祉を考える会議への支援 ・住民福祉活動計画策定への支援
南笠東	57回	・地域支え合い運送支援事業への支援 ・健幸プロジェクトへの支援
山田	26回	・医療福祉を考える会議への支援 ・山田カフェへの支援
笠縫	46回	・医療福祉を考える会議への支援 ・学区地域サロン交流会への支援
笠縫東	38回	・医療福祉を考える会議への支援 ・ふれあいサロン（もちつき大会）への支援
常盤	91回	・医療福祉を考える会議への支援 ・常盤の安心お助けガイド作成の支援
計	630回	

<関連する事業>

- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）

(2) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動を広め、多様なニーズをつかみ、ボランティア活動につなげていくことで、ボランティア活動の充実を図ります。また、誰もが参加できるボランティアの仕組みづくりを進めることで、ボランティアの輪を広めます。

(2-1) 若い世代のボランティア活動のきっかけづくり 重点

ボランティアの高齢化が進む中、若い世代にボランティア活動に関心をもってもらい、ボランティア活動に参加してもらえよう、ボランティアの魅力発信や、子どもや保護者が参加しやすいボランティア活動を広げる等、きっかけづくりを進めます。

●収集ボランティア啓発

11,000円

コロナ禍でも身近にできるボランティア活動として、使用済み切手、カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集の啓発に努めました。

【収集実績】 (カッコ内は前年度)

○使用済み切手	116件	(118件)
○使用済みカード	1件 4枚	(3件)
○書き損じはがき	1件 6枚	(0件)
○ペットボトルキャップ	363件	1991. 46kg (339件 2107. 68kg)
○プルトップ	166件	265. 26kg (160件 195. 45kg)

【協力団体】

- 幼・保育園（7園）
- 地域まちづくりセンター（10カ所）
- 企業（22団体）
- 地域サロン（7サロン）
- 民児協（1団体）
- 個人（延べ206人）
- 学校（小学校5校、中学校3校、高校5校）
- まちづくり協議会（2学区）
- ボランティアグループ（5団体）
- 市役所（10部署）
- 会館（2団体）
- その他（15団体）

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・災害ボランティアセンター
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティア活動支援事業
- ・市社協事業ボランティア育成講座
- ・共同募金活動助成

（2-2） 新たなボランティア発掘の仕組みづくり 重点

ボランティアの魅力を知り、ボランティアに関心をもつ人を増やしていく仕組みづくりを進めることで、さらなるボランティアの輪を広げます。

●草津市福祉教養大学院卒業ボランティアグループ応援助成金

20,000 円

草津市福祉教養大学院生・卒業生が立ち上げるボランティアグループに草津市福祉教養大学で学んだ成果を発揮する場を増やし、継続的に活動していただけるようにすることを目的に教養大学院卒業生が立ち上げた下記のボランティアグループ2団体に助成を行いました。

助成金を活用し、ボランティアグループの活動基盤の整備、自主的な活動を広げるための支援につながりました。

- ボランティアグループふくちゃん
- VG. フリーダム

●ボランティアマルシェ

315,262 円

6月11日（土）10:00～16:00 キラリエ草津プロムナードにて、ボランティアマルシェを実施しました。ボランティアマルシェは、市社協の魅力の発信や新たなボランティア活動の発見づくり、ボランティアの活動の場を拡大することを目的に実施しました。コロナ禍で減少していたボランティア活躍の場となり、キラリエに立ち寄ったことのない方にもキラリエや市社協を知っていただく機会となりました。入居者団体もイベントを通して連携を強固なものにできました。

- ボランティアマルシェ

日時：令和4年6月10日（金）、6月11日（土）

場所：キラリエ草津プロムナード

内容：①赤十字活動を聞きに行こう

（見える・魅せる市社協ブース、ボランティアセンター啓発、共同募金・ウクライナ義援金）

②ふくちゃんグッズを見に行こう

(キラリエ4階5階連携ブース、草津市コミュニティ事業団キャラクターマッチ・ふくちゃんグッズ販売、大阪税関京都税関支署滋賀出張所チラシ・心配ごと相談所チラシ配布)

③手話体験または点字体験をしよう

(点字で名刺づくり、手話で自己紹介・あいさつ)

④障害者団体・市社協コラボ事業

(わかたけ作業所パン販売)

⑤収集ボランティアについて知ろう

(ペットボトルキャップ・プルトップ・古切手ブース)

⑥草津市社協チューリップ事業について知ろう

(地域・行政・市社協連携ブース、草津市社協チューリップ事業啓発・生理用品寄付)

⑦ゆかい家・市社協コラボブース

(お菓子販売・草津市社協チューリップ事業)

⑧キラリエ映え映えブース

(キラリエ入居者団体キャラクター4体からなるキラリエフォーとの写真撮影ブース)

⑨スタンプラリー景品引換所

(スタンプラリーカードの配布とフレンドマートとコラボ景品の受け渡し場所)

⑩健康都市くさつイベント

⑪MERC I CAKE・市社協コラボ

参加者数：約500人

●ボランティアグループ・地域サロン活動リスト/

出前ボランティア一覧作成

15,125円

【ボランティアグループ・地域サロン活動リスト】

ボランティアグループ・地域サロン間で情報を共有していただき、活動の活性化につながることや、ボランティアの仲間作りに役立てていただくことを目的に作成しました。

ボランティアグループをジャンル別に掲載することで、どのようなグループが市内で活動されているか検索しやすくしました。また地域サロンは学区別に掲載し、市内のどこで活動されているかが分かるようにしました。

○2色刷り126部作成

○配付先：登録ボランティアグループ、地域サロン、学区社協、学区民児協、市役所、地域包括支援センター、草津市コミュニティ事業団、地域まちづくりセンター、図書館、隣保館等

【出前ボランティア一覧】

地域に出向いていただけるボランティアグループの紹介とボランティア活動の場の提供、活動の促進を目的として作成しました。

○カラー用紙・2色刷り320部作成

○配布先：地域まちづくりセンター、図書館、隣保館、地域サロン、学区社協、学区民児協、幼・保育園、こども園、小・中学校、市内福祉施設等

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・草津フードバンクセンター設置
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・収集ボランティア啓発
- ・福祉教育の推進
- ・災害ボランティアセンター

(2-3) 誰もが参加できるボランティアの仕組みづくり

誰もが参加でき、いきいきと楽しく活動できるボランティア活動の仕組みと、参加した人が社会貢献を実感してもらえぬ仕組みづくりを進めます。

●独居高齢者電話訪問

50,769 円

65歳以上の一人暮らしや昼間独居の高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアが電話訪問することで、孤立や孤独に陥らないように、民生委員・児童委員と連携して支援しました。

利用者：18人 傾聴ボランティア：8人

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
電話訪問回数	279回	270回	227回	191回	174回

令和4年度電話訪問月別集計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数(回)	25	22	28	24	21	26	24	19	24	22	21	23	279

●災害ボランティアセンター

146,930 円

毎年実施している運営訓練を、今年度は例年の運営方法とは異なり、新型コロナウイルス感染症に特化した訓練内容で実施することとし、訓練検討委員会を2回開催し、準備を進めました。また、訓練検討委員会の中で各班の業務内容等の確認、シミュレーションを行い、コロナ禍でのセンターの運営方法を検討しました。訓練での三密を防ぐために、参加人数を例年の半数とし、災害ボランティアセンター運営協議会構成団体へ参加を呼びかけました。さらに、職員でもシミュレーションをすることで運営時の体制を確認しましたが、積雪のため今年度の訓練実施は急遽中止としました。

草津市、草津青年会議所および市社協の三者で「災害時の被災者支援に関する相互協力協定」を締結していることから、日頃からの協力体制を高めていくために、三者で協力し、災害ボランティアセンターについての研修会を開催しました。

【運営訓練本番】

※以下の日程で予定していましたが、積雪により急遽中止としました。

開催日：令和5年1月28日（土）

場 所：草津市立さわやか保健センター

対 象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体

参加者：48人（当初予定）

【運営協議会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和4年 12月12日(月)	草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について	16人

【運営訓練検討委員会】

	開催日	内容	参加者
第1回	令和4年 10月21日(金)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練時各班業務内容について	13人
第2回	11月29日(火)	・草津市災害ボランティアセンター運営訓練(案)について ・訓練時各班業務内容について ・各班の副班長決め ・訓練のシミュレーション	13人

【災害ボランティアセンター研修会】

開催日：令和4年12月19日(月)

場所：キラリエ草津 6階大会議室

対象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体、一般市民

参加者：54人

内容：①「災害発生時の行政対応と災害ボランティアセンターとの連携について」
(草津市危機管理課)

②「災害ボランティアセンターの役割とボランティアの大切さ」(市社協)

③「被災地でのボランティアの取組と大切さ」(草津青年会議所)

<関連する事業>

- ・草津フードバンクセンター設置
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・福祉教育の推進
- ・ボランティア活動支援
- ・ボランティアグループ活動助成
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・収集ボランティア
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり事業
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・市社協事業協力ボランティア育成講座

基本目標3 新たな絆をつむぐまちづくり

いきいきと楽しく活動する場と、活動する人たちの輪を広げるため、地域や福祉という分野にとらわれず、多種多様な新たなつながりづくりを進めていきます。

(1) 地域を超えたつながりづくり

小学校区内にとどまらず、地域で活動する人たちのつながりをつむぎ、小学校区内という地域を超えたつながりを進め、活動の輪を広めます。

●市ボランティア連絡協議会活動助成

48,000 円

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 44グループ（会員数731人）

○役員会・総会・交流会等の支援

総会や代表者会議、交流会に向け準備し、出席しました。

日時	会議の種類	内容	参加者
令和4年 4月22日（金）	代表者 会議	・令和4年事業計画（案）について ・令和4年度会計予算（案）について ・令和3年度会計決算報告について ・令和4年度登録団体 ・活動経過報告、今後の予定	29名
5月25日（水）	第36回 総会	・令和3年度事業報告および会計報告 ・令和4年度事業計画（案）および会計 予算（案） ・役員紹介 ・草津市社会福祉協議会第4次地域福祉 活動計画概要説明	25人 11人 委任状
9月9日（金）	代表者 会議	・経過報告、今後の予定 ・市社協会長表彰推薦団体について ・交流会について ・機関紙「れんきょう」発行について	23人
9月29日（木）	会員 交流会	・9団体発表	67人
令和5年 3月23日（木）	代表者 会議	・令和5年度活動計画について ・令和5年度役員改選について ・令和5年度総会について	26人

●ボランティア保険加入促進

57,900 円

ボランティア活動が安心して行えるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入を促進しました。

保 険 種 類	令和4年度	令和3年度
ボランティア活動保険 基本プラン	3, 396人	3, 395人
天災プラン	388人	377人
特定感染症重点プラン	21人	
連協加入	579人	547人
ボランティア行事用保険	219件	63件
送迎サービス保険	2件	2件
福祉サービス総合保障	8件	1件

●福祉車両貸出

1,199,900円

家庭の事情や身体状況などにより、病院などへの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことにより、登録いただいている送迎ボランティアに送迎を依頼し、安心・安定した生活を送ることができるよう支援しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
送迎ボランティア数	11人	11人	10人
送迎依頼者数	21人	15人	10人
送迎対応件数	221回	175回	192回

●社会福祉法人との連携

地域の社会福祉施設は、高齢、障害、子どもの分野等でそれぞれ福祉の向上をめざして事業運営をしています。お互いの事業を理解し、各施設の専門性や職員の知識・経験を活かして、分野を超えた横のつながりを深め、地域貢献活動の発展や、地域の課題解決をめざすための場として、会議の開催に向けて内部協議を重ねました。

<関連する事業>

- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）

(2) 分野を超えたつながりづくり **重点**

福祉にとどまらず、地域の企業や学校、各種団体などつながり、連携を図ることとで、地域の課題や地域の活動について協働で行う取組を進めます。

●「まごころ便」事業

117,193円

<つながりの連鎖で再構築～ありがとう から ありがとうへ～>

新型コロナウイルス感染症拡大の中、頑張っていて活動されている医療・福祉関係施設・団体等を応援するため企業等から寄付物品等をいただき応援配分しました。歳末たすけあい見舞金配分対象者(希望の一人親家庭)、障害者関係施設18団体、高齢者関係9施設(特養)、医療関係1施設(ケアセンター)、学区社協14団体へ応援しました。

＜プロが料理した愛情たっぷりランチボックス

～ひとり親家族で子どもがいる 264 世帯 758 人を応援～

新型コロナウイルス感染症拡大により貧困・孤立・孤独が進んでいます。また全国では、子どもの貧困として7人に1人、ひとり親家庭については、約48%が貧困であると考えられています。

そこで、歳末たすけあい見舞金対象である準要保護世帯で「ひとり親家庭でかつ高校生以下の子どもがいる世帯」にランチボックス（チキンのクリーム煮・バターライス、チキンカレー等）を届けることに賛同していただいた一般社団法人全日本司厨士協会滋賀県本部から寄付を受け実施しました。

【ランチボックス配布状況】

	配布日	対象学区	対象者		配布数		内 容
			世帯	食	世帯	食	
第1弾	4/25	草津・矢倉・渋川	31	87	16	45	オムライス
第2弾	5/10	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川	31	87	15	45	チキンカレー
第3弾	5/23	南笠東・山田・笠縫・笠縫東・常盤	32	90	17	45	チキンのクリーム煮 バターライス添え
第4弾	6/6	草津・矢倉・渋川	33	90	15	44	チキンのクリーム煮 バターライス添え
第5弾	6/20	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川	31	87	13	45	チキンの煮込みデミグラス ソースバターライス添え
第6弾	7/4	南笠東・山田・笠縫 笠縫東・常盤	32	90	14	45	チキンの煮込みデミグラス ソースバターライス添え
第7弾	7/20	草津・矢倉・渋川	33	90	16	45	チキンストロガノフバタ ーライス添え
第8弾	8/8	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川	31	87	14	45	チキンストロガノフバタ ーライス添え
第9弾	8/22	南笠東・山田・笠縫・笠縫東・常盤	32	90	17	45	チキンカレー
第10弾	9/6	草津・矢倉・渋川	33	90	17	45	チキンカレー
第11弾	9/21	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川	31	87	17	45	チキンのトマト煮ペンネ 添え
第12弾	10/3	南笠東・山田・笠縫・笠縫東・常盤	32	90	14	45	チキンのトマト煮ペンネ 添え
第13弾	10/17	草津・矢倉・渋川	33	90	15	45	チキンカレーナン添え
第14弾	11/8	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川	32	89	18	42	チキンカレーナン添え
第15弾	11/21	南笠東・山田・笠縫・笠縫東・常盤	31	88	13	42	チキンカレー
第16弾	12/5	草津・矢倉・渋川・南笠東 山田・笠縫・常盤	51	137	18	45	チキンストロガノフ
第17弾	12/19	志津・志津南・大路・老上・老上西・玉川・笠縫東	41	120	15	45	近江牛カレー
合計			570	1,589	264	758	

＜草津市赤十字奉仕団「愛のこもった炊き込みご飯675個」市社協とコラボ
～炊き込みご飯で免疫アップ地域サロン157団体を応援～＞

コロナ禍であっても新しい生活様式で地域サロンの活動者の前向きな気持ちの応援と参加される高齢者に笑顔になっていただきたいという気持ちで、草津市赤十字奉仕団と市社協がコラボして「炊き込みご飯」を作り、地域福祉活動の安心と安全を応援しました。

今年度も10月27日（木）に19サロンに316食、11月11日（金）に20サロン 359食を作り、高齢者に笑顔になっていただきました。そして、サロンからは「大変、美味しかった！うれしかった！」というお礼のハガキをいただき、奉仕団活動への励みにも繋がりました。

○対象 高齢者地域サロン157サロン

○配分数

	応援サロン数	個数
10/27（木）	19サロン	316個
11/11（金）	20サロン	359個
合計	39サロン	675個

＜区・学区社会福祉協議会へ応援まごころ便

～草津市社協の学区担当からメッセージを添えて～＞

コロナ禍で活動が止まることがないように工夫をしている区・学区社会福祉協議会14学区に応援の気持ちを込めてマスク、ぞうきん、刺子ふきんなどをお渡ししました。

また、市社協職員の学区担当から「今だからできることに目を向け、心を一つに力を合わせて一緒に乗り越えていきましょう」「みんなの笑顔があふれる温かい地域になるように一緒に頑張りましょう」といった学区社協へのメッセージを添えてお届けしました。

＜福祉関係施設応援まごころ便

～オムロン(株)草津事業所とコラボ企画(企業との連携強化)応援の輪を広げる～＞

新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、「コロナに負けず」活動されている施設を「みんなで応援しよう」と市社協が企業・市民に呼びかけたところ、心がこもった多くの寄付物品をいただきました。

また、オムロン株式会社草津事業所とコラボし、地域貢献活動としてふくちゃんクリアファイルからマスクケースを442個作成、ぞうきんを335枚作成し寄付していただきました。

他にも、縫い物・あみものをするボランティアグループ「ほほえみ会」さんから小物入れを75個ご寄付いただきました。

ぞうきんをはじめとする下記の物品と企業や市民からご寄付いただいた食品をバラエティーパックとして28カ所の特別養護老人ホーム、障害関係施設、グループホーム、医療関係施設等へ「福祉関係施設応援まごころ便」としてお届けしました。

まごころ便の袋詰めは、VG. フリーダムがお手伝いをしてくださいました。

寄付団体	寄付物品	個数	単位
パナソニック株式会社	不織布マスク 50枚入	100	箱
市役所	不織布マスク 50枚入	120	箱
市民	不織布マスク 50枚入	8	箱
	不織布マスク 100枚入り	2	箱
	不織布マスク 子ども用 50枚入り	23	箱
	不織布マスク バラ	111	枚
	布マスク	236	枚

オムロン株式会社 野村様	布マスク	12	枚
市民	消毒液	10	本
	ハンドジェル (スティックタイプ)	3	袋
(有)草津介護センター	手袋	22	箱
(有)草津介護センター	除菌シート	38	個
(株)イチバン・コーポレーション	ひざ掛け	36	枚
日本航空高等学校 通信制 草津キャンパス ボランティア委員会	ぞうきん	34	枚
オムロン株式会社	ぞうきん (昨年度分)	418	枚
	ぞうきん (令和5年度分)	335	枚
	ふくちゃんマスクケース	442	枚
長寿生きがい課	洗剤 (試供品)	199	個
市民	洗剤(1.0kg)	6	箱
市民	洗剤	15	本
	柔軟剤	4	袋
	刺子ふきん	49	枚
	入浴剤	12	個
	入浴剤	8	本
	ケープ	4	本
	日焼け止め	3	本
	ハチ・アブジェット	3	本
	クッキングシート	2	本
	ジップロック S	3	箱
	ジップロック L	2	箱
	ビニール手袋	3	セット
	タッパー (パスタ用)	2	個
	洗濯ネット	1	枚
	ガーゼ	1	箱
	口腔ケアスポンジ	1	箱
	歯磨き粉	2	本
	デンタル商品	2	本
	軍手 約50足	50	足
	クリーンコットン	1	個
	シャンプー	4	本
	ティッシュカバー (手作り)	7	個
	エコバック (手作り)	8	個
大阪ガス株式会社	折り紙 小	88	セット
	折り紙 大	100	セット

【寄付食品一覧】

寄付物品	数
乾麺	137個
乾物	140個
缶詰	74個
瓶詰	25個
調味料	304個
油	12個
レトルト食品	177個
菓子	129個
飲料	232箱
ルー類	36箱
粉類	33個
その他	39個

●ふくちゃんプロジェクト

52,882円

手ぬぐいからマスク、クリアファイルからマスクケースをすることでボランティア活動の活性・活躍の場を広げ、個人ボランティアの育成や新たなボランティア団体等の立ち上げアイテムに活用することを目的にマスク・マスクケース作成の依頼、また出張講座に出向き、ボランティア活動の活性に努めました。

<ふくちゃんオリジナルグッズ作成ボランティア>

コロナ禍で在宅でもできるボランティア活動として楽しくボランティアを始めるきっかけづくりになることを目的に実施しました。

ふくちゃんグッズオリジナルグッズ作成ボランティアをきっかけにボランティアを始めた10名の方が草津市社協ボランティアセンター登録団体への加入につながりました。

作成していただいたふくちゃんグッズは、イベント時に寄付付き販売・周知啓発として展示させていただき、売上金はボランティア拡大のための事業費などに活用しました。

- ふくちゃんオリジナルグッズ作成ボランティア人数 19人
- ふくちゃんオリジナルグッズ作成数 71個
- ふくちゃんグッズ売上金額 53,400円

<オムロン株式会社草津事業所とコラボ企画 ZOOMでボランティア体験>

オムロン株式会社草津事業所の地域貢献活動として、ふくちゃんプロジェクトとコラボしマスクケース作成を実施しました。

コロナ禍で在宅ワークという働き方の変化に応じて在宅でもできるボランティア活動として、ZOOMを活用して社員198名の方が参加していただき、442個作成し寄付してくださいました。

作成していただいたマスクケースは、8名の方が丁寧にラッピング作業をしてくださり、オムロン株式会社草津事業所のコロナ禍で奮闘される福祉関係施設を応援したいという思いからマスクケースをまごころ便事業として福祉関係施設28団体にお届けしました。

マスクケース作り方の講師としてボランティアグループふくちゃんに出前講座に行ってください、ボランティアの活躍の場につながりました。

<ふくちゃんプロジェクト応援寄付金>

ふくちゃんプロジェクトを応援したいと思っていただいた方に「ふくちゃんプロジェクトの活動資金を応援する寄付ボランティア」として参加していただけるようにふくちゃんプロジェクト応援募金箱を設置しました。

ふくちゃんプロジェクト応援寄付金は、ボランティア拡大の事業費に活用させていただきます。

○ふくちゃんプロジェクト応援寄付金 3,044円

●善意銀行の活用と運用、寄付金の募集

寄付金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、企業が提供する名刺に対し、一定の割合で企業等が売り上げの一部を当会に寄付する「寄付付き名刺」を発行しました。

社会福祉全般における市民からいただいた善意の寄付金・物品は、善意銀行事業として社会福祉施設、社会福祉団体や援助の必要な人のために役立てました。また、ボランティア基金に寄せられた寄付は、ボランティアセンター運営にかかる事業実施のために活用しました。

さらに、広報紙・ホームページにて、いただいた寄付金を掲載し、寄付金募集の啓発に努めました。

【寄付金状況】

寄付名	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	件数	寄付金額	件数	寄付金額	件数	寄付金額	件数	寄付金額
市社協が行う各地域福祉事業	41件	586,167円	47件	1,157,880円	57件	1,780,719円	69件	1,564,714円
ボランティア基金事業	3件	3,044円	8件	62,923円	10件	132,000円	9件	241,793円
善意銀行	7件	612,000円	6件	165,991円	2件	50,000円	12件	399,636円
施設設備等寄付金	0件	0円	0件	0円	1件	3,344,000円	1件	140,000円
災害復興基金	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
計	51件	1,201,211円	61件	1,386,794円	70件	5,306,719円	91件	2,346,143円

【寄付物品状況】 ※順不同・敬称略

- マスク、手作りマスク、布マスク 393件（パナソニックホールディングス(株)、匿名）
- マスクケース 442件（オムロン(株)草津事業所）
- 長形3型封筒 26件（エンブレム 尾中 治幸）
- リハビリパンツ、大人用紙おむつ、尿取りパッド、子供用紙おむつ等 664件
（(株)おりづる 訪問看護ステーションおりづる、佐藤 静子、生活協同組合コープしが、匿名）
- 手口ふき、おしりふき 17件（佐藤 静子、匿名）
- 雑巾 369件
（オムロン(株)草津事業所、日本航空高等学校通信制草津キャンパスボランティア委員会）

- 消毒液、除菌シート 14件（フードバンク滋賀、匿名）
- 折り紙 100件（大阪ガスネットワーク㈱京滋事業部（越田哲史））
- お風呂場用品 38件（匿名） ○デンタル用品 4件（匿名） ○台所用洗剤 8件（匿名）
- 衣類用洗剤 199件（匿名） ○ビニール手袋 4件（匿名）
- ふくちゃんグッズ 14件（匿名） ○手さげかばん、エコバック、巾着 19件（匿名）
- 子ども用ワンピース 1件（匿名）
- 毛糸 1件（匿名） ○パネル 1件（匿名）

<関連する事業>

- ・社会福祉法人との連携
- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）
- ・ボランティア連絡協議会助成 ・ボランティア連絡協議会加入促進
- ・草津フードバンクセンター設置 ・ボランティアセンター運営と機能強化

II. 市社協が取り組む福祉の基盤づくり ～地域福祉活動発展計画～

基本目標 住み慣れた地域で安心して
暮らしていけることができる体制づくり

(1) 地域福祉活動支援の推進

学区社協をはじめとする地域で活動する人や団体の支援を行うことで、地域福祉活動を活性化し、誰もが安心して暮らせる体制をめざします。

(1-1) 学区社協をはじめとした地域福祉活動支援 重点

地域福祉の推進に欠かせない学区社協をはじめ、地域で活動する団体等に地域福祉のプラットフォームとしての役割を発揮し、ともに地域福祉活動を展開します。

●学区社協会長会の実施（学区社協便覧の作成等） 482,095円

学区社協会長同士の情報交換や、福祉のまちづくりを推進することを目的に会議を実施しました。

その他、学区社協便覧の作成や、医療福祉を考える会議の進捗状況などをテーマとして意見交換の場を持ち、会長同士が積極的に情報交換できるよう努めました。

また、学区社協事務局長等会議を実施し、会長だけでなく、会長を支える事務局長にも今後活用いただけるような情報等を知っていただき、学区社会福祉協議会活動がより充実したものとなるよう支援しました。

○学区社協会長会

日 時	主 な 協 議 内 容
令和4年 4月20日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関の委嘱について ・福祉委員の委嘱について ・市社協フードドライブ事業について ・令和3年度の賛助会費の実績について ・民間助成事業の案内について

5月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度社会福祉協議会一般会費・賛助会費の御協力について ・草津市社協「移動フードドライブ事業」について ・敬老会の封筒について ・令和4年度滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費の分担金について ・民間助成事業の案内について ・「第72回社会を明るくする運動」の街頭啓発(予定)について
6月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度赤い羽根共同募金運動への御協力とお願いについて ・令和4年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・地域サロンについて ・令和4年度第5回草津市福祉教養大学・第4回大学院<外部編入コース>の案内について ・第72回「社会を明るくする運動」街頭啓発の協力依頼について ・令和4年度学区社協便覧について ・他機関委員会の委嘱について
7月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間助成事業の案内について ・情報交換「敬老会について」
8月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度共同募金運動について ・一般会費納入依頼について ・令和4年度賛助会費募集日程について ・「まごころ便」について ・フードバンクセンター事業について ・令和4年度草津市社会福祉協議会講演会(役員等研修)について ・民間助成事業の案内について
9月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動について ・「まごころ便」について ・令和4年度草津市社会福祉功労者表彰式の開催について ・民間助成事業の案内について
10月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度草津市社会福祉協議会会長表彰被表彰者の決定について ・令和4年度「送迎ボランティアのための安全運転講習会」について ・令和4年度敬老会の実施報告について
11月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会「大地震は突然に！」 草津市危機管理課 課長補佐 川元康弘さん 参与 徳田安雄さん ・草津市災害ボランティアセンターについて ・第5回草津市福祉教養大学第5講座について ・部落解放研究第30回滋賀県集会の参加について
令和5年 1月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度赤い羽根共同募金の実績報告について ・一般会費・賛助会費の報告とお礼について
2月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動推進事業補助金について ・滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費分担金の納入方法の変更について ・令和5年版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度地域サロン事業報告書および令和5年度地域サロン事業計画書の提出について ・令和5年度学区社協会長会の日程について ・各学区社協の総会について
--	--

○事務局長等会議

開催日	内容
令和4年 10月28日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度草津市社会福祉協議会の事業について ・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ①各学区の「医療福祉を考える会議」の取組について ②コロナ禍における各学区の地域福祉活動について
令和5年 3月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会費、賛助会費の報告とお礼について ・地域福祉活動推進事業補助金について ・滋賀県社会福祉協議会縁特別会員会費分担金の納入方法の変更について ・令和5年版草津市学区・区社会福祉協議会便覧の提出について ・令和4年度地域サロン事業報告書および令和5年度地域サロン事業計画書の提出について ・「2023年トルコ・シリア地震救援金」募金箱の設置について ・意見交換「来年度に向けての抱負について」

●地域福祉活動推進の支援強化

282,189円

市社協が草津市地域福祉活動計画（以下、計画）に基づき、より良い事業展開をしていくため、地域における福祉活動の取組状況の把握と、計画の進捗管理を行い、地域福祉活動の更なる発展を支援しました。

会議開催一覧

年月日	会議名	内容
令和4年 8月9日(火)	事務局会議	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の進め方について ・社会福祉法人連携会議（仮）について
8月26日(金)	事務局会議	<ul style="list-style-type: none"> ・4次計画の進捗管理について ・社会福祉法人連携会議（仮）について
9月12日(月)	事務局会議	<ul style="list-style-type: none"> ・4次計画の進捗管理について ・社会福祉法人連携会議（仮）について
9月22日(木)	委員との打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・4次計画の進捗管理について
9月28日(水)	委員との打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・4次計画の進捗管理について
令和5年2月～	事務局協議	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協パンフレットの作成について

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）
- ・地域福祉活動助成

(1-2) 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員との連携・活動支援とともに、地域住民の困りごと等を地域の課題として捉え、新たな事業構築などの地域福祉の推進につなげます。

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月1回総務会、必要に応じ総務委員会を開催し、関係機関・団体などからの情報提供や協議を実施しました。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が有効に機能するように支援し、職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑にできるように支援・協力をしました。

○専門部会・委員会・連絡会活動の支援

部会・委員会・連絡会名	主な活動内容
地域福祉部会	「地域と福祉の共生について」をテーマに館外研修会の実施 単位民児協活動の活性化を図るため、交換民児協の結果のフィードバック
高齢者福祉部会	他市民児協（大津市民児協）の高齢者福祉部会の活動を知る 各委員の高齢者見守り等の活動および経験談の共有
障害福祉部会	「障害の理解と基本的な対応について～発達障害を中心に well-beingを考える」をテーマに研修会の実施 「ふくふくサロン」への参加・協力
児童福祉部会	児童虐待問題・子育てを取り巻く状況の研修会の実施 鹿深の里での見学研修の実施
人権・同和部会	豊郷町隣保館現地研修の実施
広報委員会	事例集「光もとめて」、広報紙「こぼと」の発行 より良い広報・啓発を行うため研修会の実施
研修委員会	総会研修の実施 5グループに分けた全員研修の実施
主任児童委員連絡会	乳幼児健診（10か月健診）の見守り 小中学校との懇談会の実施 講師を招いた研修会の実施

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・生活つなぎ資金
- ・生活福祉資金

(1-3) ボランティアセンターの機能強化 重点

ボランティアニーズの把握や、マッチング機能、ボランティアの養成や魅力のPR等、ボランティアセンターとして必要な機能を強化し、ボランティアセンターがより一層ボランティア活動の拠点となるよう取り組みます。

●ボランティアセンター運営

438,143 円

地域で活躍されているボランティアグループ・個人ボランティアへの援助相談に応じ、ボランティア活動の活性化を図りました。また、ボランティアの支援を必要とされている方とセンター登録されているボランティアとの間で需給調整を行いました。

【登録ボランティアの推移】

年度	ボランティアグループ		個人 ボラン ティア	合計登録人数
	グループ数	人数		
令和4年度	376団体	5,776人	65人	5,841人
令和3年度	358団体	5,980人	38人	6,018人
令和2年度	355団体	5,982人	48人	6,030人
令和元年度	357団体	6,372人	57人	6,429人
平成30年度	355団体	6,265人	54人	6,319人
平成29年度	331団体	5,000人	12人	5,012人
平成28年度	319団体	4,565人	13人	4,578人
平成27年度	319団体	5,052人	15人	5,067人

【ボランティア需給調整（令和4年度実績）】

合計 (件数)	学校 関係	サロン	施設	レイカ ディア 大学	学区 社協	個人	まち セン	その 他・ 団体
134	16	22	7	27	12	23	3	24

<関連する事業>

- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・ボランティア活動支援
- ・収集ボランティア啓発
- ・市社協ボランティア育成講座
- ・草津市福祉教養大学卒業ボランティアグループ応援助成金
- ・草津市ボランティアセンター施設利用助成
- ・ボランティア連絡協議会助成
- ・若い世代のボランティア活動のきっかけづくり
- ・ボランティアグループリスト作成
- ・災害ボランティアセンター
- ・ボランティア連絡協議会加入促進

(1-4) 企業等との連携・ネットワークの構築

企業や学校、福祉事業所等、地域にある様々な団体等と、市社協が率先して連携を図り、かつ地域福祉活動の魅力などを情報発信していくことで、様々な団体と地域活動が連携を図るきっかけとし、様々なネットワークの構築へつなげます。

●市社協会費

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	31,939世帯	30,962世帯	31,629世帯	31,155世帯	30,395世帯
会員	4,790,900円	4,639,800円	4,744,450円	4,673,200円	4,659,250円
賛助	456社	460社	573.6口	585.6口	610.6口
会員	2,875,000円	2,878,000円	2,868,000円	2,928,000円	3,053,000円
計	7,665,900円	7,517,800円	7,612,450円	7,601,200円	7,712,250円

※令和3年度から、賛助会員数で記載

<関連する事業>

- ・まごころ便
- ・社会法人との連携
- ・地域福祉コーディネーターによる学区社協支援
- ・草津市民生委員児童委員協議会事務局
- ・ボランティアセンターの運営と機能強化
- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・生活支援体制整備事業（地域支えあい推進員による学区支援）

(2) 個別援助活動の充実

貧困・孤立・孤独等を防ぎ、相談内容を受け止めることができる相談体制を構築しつつ、様々な関係団体と連携を図ることで、住民に安心を届けます。

(2-1) 包括的な相談体制の構築 重点

- 心配ごと相談所の周知・啓発を強化し、すべての人の相談に対応します。
- 生活福祉資金貸付をはじめ、個々の問題を受け止められる相談者として、研修に参加する等、職員の相談能力の向上を図り、相談体制を強化します。
- 民生委員・児童委員をはじめ、人とくらしのサポートセンター等の各種相談機関との連携を強化し、相談を受け止め、切れ目のない支援が行える体制づくりを進めます。

●生活つなぎ資金貸付

2,380,000円

民生委員・児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯が再び安定した生活に戻るまでの間をつなぐため、生活つなぎ資金を貸し付けました。

- ・コロナ特例終了により貸付件数増加
- ・人とくらしのサポートセンターとの連携

【貸付相談件数】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸付相談件数	63件	37件	28件	42件	47件

【貸付状況】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸付件数	51件	32件	25件	37件	32件
貸付額	2,220,000円	1,300,000円	1,125,000円	1,540,000円	1,283,000円

●生活福祉資金貸付

16,934,650円

滋賀県社協が実施している生活福祉資金の貸付相談や手続きを行うための職員を配置し、生活困窮者に対する相談支援を実施しました。当年度10月で新型コロナウイルス特例貸付が終了したことで、従来の生活福祉資金の相談が増加し、一人ひとりに対してきめ細やかな対応を行うとともに、市に設置されている人とくらしのサポートセンターとも連携しながら、切れ目のない支援に努めました。

【貸付相談件数】（単位：件）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸付相談件数	321	865	1,401	125	52

【貸付件数】（単位：件）

	新型コロナウイルス特例貸付			総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	合計
	緊急小口資金	総合支援資金	延長、再貸付申請等		緊急小口資金	福祉費					
令和4年度	140	136	0	0	16	8	21	0	0	0	321
令和3年度	662	681	1,048	0	7	8	16	0	0	0	2,422
令和2年度	1,087	871	795	0	9	7	15	0	0	0	2,769
令和元年度				0	15	9	10	0	0	0	34
平成30年度				0	4	7	13	0	0	0	24

●心配ごと相談所開設

1,499,946円

住民の皆さんに身近な、なんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設し、様々な相談に対応しました。

- 月曜日から金曜日の10時～12時、13時～15時に開設しました。
- 弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に実施しました。
- 年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。
- 研修として、相談員の方々は福祉教養大学の講座を受講されました。
- 年に2回つながりサポート事業に係る関係機関連絡会に参加されました。

内容	令和 4年度	令和 3年度	内容	令和 4年度	令和 3年度	内容	令和 4年度	令和 3年度
離婚	12	7	生計	5	5	精神保健	1	8
家族	42	33	財産	31	34	苦情	6	23
人権・法律	11	4	住宅	10	3	職業・ 生業	43	12
事故	2	1	消費者問題	3	0	医療	0	2
結婚	0	0	環境	10	3	高齢者 福祉	3	3
年金	1	1	児童福祉	1	1	教育・ 青少年	1	1
心身障害児童 福祉	0	2	母子父子 福祉	0	0	その他	152	135
				合計	令和4 年度	334	令和3 年度	278

●相談員連絡会の開催

相談員連絡会は年6回開催し、相談員同士の情報交換を行いました。

●歳末たすけあい見舞金の配付

3,570,557円

市内の経済的事情により生活に困っておられる世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配布しました。また、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給しました。

さらに、福祉施設、団体等へ見舞金を配布しました。

- 市内の準要保護世帯への見舞金（対象世帯：218世帯）
- 福祉施設、団体等への見舞金（56施設）
- 歳末たすけあい子ども支援事業助成（2学区）
- 一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援（115件）

〈件数内訳〉

- ・市社協緊急食糧支援として 23件
- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）を通して 86件
- ・人とくらしのサポートセンターを通じて 6件

<関連する事業>

- ・チューリップ事業（つながりサポート事業）
- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・地域福祉権利擁護事業の推進

(2-2) 地域福祉権利擁護事業の充実

- 生活支援専門員、生活支援員の力量を向上させ、利用者が安心して生活を送れるようにしていきます。
- 金銭の入出金等に係る事務処理をより厳格なものとし、利用者の財産保全を確実なものとしします。
- 地域包括支援センターや生活保護担当部署等、関係機関との連携をより強化し、利用者の課題に対してチームで取り組みます。
- よりわかりやすい広報誌やパンフレット、ホームページでの啓発、また出前講座を実施し、本事業への理解を深める取組を進めます。

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援 5,133,610円

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしの中で福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。利用者に寄り添った、確実できめ細かな支援を継続できるよう支援を行いました。

また、滋賀県社会福祉協議会が主催する、地域福祉権利擁護事業生活支援員、新任職員研修会に参加しました。

【相談件数】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高齢者	427件 (146件)	373件 (171件)	334件 (157件)	280件 (118件)	355件 (267件)
知的障害者	1,334件 (182件)	687件 (160件)	722件 (102件)	823件 (220件)	938件 (163件)
精神障害者	1,731件 (961件)	1,557件 (930件)	1,152件 (761件)	970件 (477件)	901件 (544件)
身体障害者	48件 (0件)	28件 (0件)	74件 (9件)	216件 (14件)	—
計	3,540件 (1,289件)	2,645件 (1,261件)	2,282件 (1,029件)	2,289件 (829件)	2,194件 (974件)

※令和元年度から身体障害者項目追加

※()は生活保護受給者からの相談件数

【契約人数の推移】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
高齢者	4人	6人	7人	5人	5人
知的障害者	25人	23人	21人	22人	24人
精神障害者	18人	17人	16人	14人	15人
身体障害者	1人	1人	1人	1人	—
合計	48人	47人	45人	42人	44人

【契約人数の状況】

	令和3年度 契約人数 (A)	令和4年度 解約人数 (B)	令和4年度 新規契約人数 (C)	3月末現在契約人数 (内生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	6人	3人	1人	4人(3人)
知的障害者	23人	3人	5人	25人(7人)
精神障害者	17人	1人	2人	18人(7人)
身体障害者	1人	0人	0人	1人(0人)
合計	47人	7人	8人	48人(17人)

【支援回数】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
支援回数	837回	922回	1,058回	915回	829回
内生活保護受給者支援回数	365回	374回	325回	280回	309回

○支援専門員・生活支援員の体制

- ・支援専門員： 4人
- ・生活支援員：22人（男性：7人 女性：15人）

【地域福祉権利擁護事業 新規相談等の受付経路】

- ・地域包括支援センターからの相談 31件
- ・障害者福祉センターからの相談 13件
- ・ケアマネジャーからの相談 1件
- ・その他支援機関からの相談件数 30件

【支援専門員・生活支援員 研修会】

日時	内容	参加人数
令和4年5月27日（金） 13：15～16：30	・地域福祉権利擁護事業について ・権利擁護と相談の基本を学ぶ	専門員：1人 支援員：6人
令和4年6月9日（木） 13：15～16：30	・認知症の人の理解と支援について ・知的障害者の理解と支援について	支援員：6人
令和4年6月14日（火） 13：15～16：30	・精神障害者の理解と支援について ・グループワーク	専門員：1人 支援員：5人

<関連する事業>

- ・各種事業推進に係る関係機関との連携強化
- ・近所力アップ講座
- ・市社協ホームページ運営
- ・市社協広報紙「社協くさつ」発行

(3) 市社協の基盤強化

地域福祉活動を安定的・継続的に進めることができるよう、市社協事務局の体制を築くため、必要な財源の確保や、職員の育成に努めます。

(3-1) 地域福祉活動推進に要する財源確保 **重点**

「見える社協、魅せる社協活動」について企業等へPRすることで、地域福祉活動を応援いただける賛助会員を増やし、加入促進を図るとともに、市社協会費制度への理解と協力を広げます。

クラウドファンディングや目的を明確にした寄付金の提案等、新たな財源確保の方策を検討します。

市内の地域福祉活動へ助成を行っている赤い羽根共同募金運動を盛り上げることで、財源確保につなげます。

● 「社協くさつ」 「ホームページ」 有料広告

85,000 円

市社協広報紙「社協くさつ」、ホームページにて、有料広告を募集し、財源確保に努めました。

○社協くさつ広告掲載企業

9月1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123、橋本内科医院

11月1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

3月1日号…木川営農組合、(有)三王都市開発、宅配COOK123

○ホームページ広告掲載企業

株式会社ヤマキ

● 「ふくちゃん」 啓発

ボランティアマルシェをはじめ、イベントにふくちゃんを派遣し、草津市内の地域福祉活動について啓発を行いました。また、ふくちゃんの啓発をはじめ市社協のPRとともに、ボランティア活動の活性化や、新たなボランティアを発掘し、身近に感じられるボランティアとして、ふくちゃんプロジェクトを実施しました（詳細はふくちゃんプロジェクトを参照）。

No.	開催日	内容	依頼団体
1	令和4年 7月30日(土)	志津まちづくりセンター 夏祭り	志津まちづくりセンター
2	11月6日(日)	志津ふれあい広場	志津まちづくり協議会
3	12月13日(火)	プーさんクラブ クリスマスパーティー	志津地区 民生委員児童委員協議会

● 共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	7,914,071円
歳末たすけあい募金	5,123,738円
計	13,037,809円

●赤十字事業の推進(日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)

日本赤十字社の活動資金募集や、赤十字活動の普及を図りました。また、赤十字活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援し、「社協くさつ」にて赤十字活動についての記事を掲載し、周知・啓発を呼びかけました。

義援金・救援金名	義援金・救援金額
平成30年7月豪雨災害義援金	2,165,318円
令和2年7月豪雨災害	300,383円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	1,010円
ウクライナ人道危機救援金	337,993円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	6,497円
令和4年台風第15号災害義援金	3,600円
令和4年7月大雨災害義援金	2,627円
2023年トルコ・シリア地震救援金	211,061円
合計	3,028,489円

(令和5年3月31日現在 累計額)

<関連する事業>

- ・市社協会員の拡大
- ・ボランティア基金の運用、寄付金の募集
- ・善意銀行事業
- ・寄付付き名刺の販売

(3-2) 事務局体制の強化

役職員等に対しての地域福祉研修会などを実施し、社会変化に応じた社協運営ができるよう努めます。

全職員のスキルアップをはかり、地域福祉コーディネート機能を発揮できるよう努めます。

事業の効果等確認し、継続する事業や見直す事業を明確にし、より地域のニーズにあった事業への更新等を行います。

「草津市社会福祉協議会職員行動規則」にのっとり、常に使命感をもち、信頼される社協づくりを進めます。

●社会福祉援助技術現場実習

社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として、社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供しました。

○受け入れ期間：令和4年11月1日(火)～12月5日(月)

○受け入れ人数：2人(龍谷大学)

●第三者委員の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員会を開催しました。

開催日：令和5年2月8日(水)

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：苦情・事案の報告(コロナ特例貸付事業、地域福祉権利擁護事業関係)

第三者委員：奥井晴喜、長谷川清、西川裕子

●役員会の開催ならびに研修会の開催

525, 125 円

理事会、評議員会、正副会長会、評議員選任解任委員会を適宜開催するとともに、研修会の実施や参加、他機関の会議等への積極的な参加協力を行い、役員体制の強化を図りました。

○正副会長会

開催日		議案
第1回	令和4年 5月27日(金)	※理事会の提出議案について ・令和3年度事業報告の承認について ・令和3年度決算の承認について ・令和4年度第1次補正資金収支予算(案)の同意について ・常務理事の選定について ・理事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・令和4年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	9月21日(水)	・令和4年度草津市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について
第3回	令和5年 1月18日(水)	※理事会の提出議案について ・副会長の選定について ・令和4年度第2次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和4年度第4回評議員会の招集について
第4回	2月28日(火)	※第5回理事会提出議案について ・令和4年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和5年度事業計画(案)の同意について ・令和5年度資金収支予算(案)の同意について ・令和5年度役員報酬の総額について ・令和5年度資金運用計画(案)の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補充評議員候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ・滋賀県運営適正化委員会の勧告について

○理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 (理事会)

開催日		議案
第1回	令和4年 5月24日(火) (決議の省略による)	・理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について
第2回	6月6日(月)	・令和3年度事業報告の承認について ・令和3年度決算の承認について ・令和4年度第1次補正資金収支予算(案)の承認について ・常務理事の選任について ・理事候補者の推薦について

		<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会の招集について ・補充評議員候補者の推薦について ・令和4年度定時評議員会の招集について ・会長および常務理事の職務執行状況の報告について
第3回	12月28日(水) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する理事候補者の選任について ・令和4年度第3回評議員会の開催について ・評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者の選任について ・評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会を招集することについて
第4回	令和5年 1月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定について ・令和4年度第2次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和4年度第4回評議員会の招集について ・令和4年度第5回評議員会の招集について ・第三者委員会への報告事項について
第5回	3月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第3次補正資金収支予算(案)の同意について ・令和5年度事業計画(案)の同意について ・令和5年度資金収支予算(案)の同意について ・令和5年度役員報酬の総額について ・令和5年度資金運用計画(案)の承認について ・評議員選任・解任委員会の招集および補欠評議員候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・会長および常務理事の職務実行状況の報告について ・滋賀県運営適正化委員会の勧告について

(評議員会)

開催日		議案
第1回	令和4年 6月2日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・補充理事の選任について
第2回	令和4年 6月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告の承認について ・令和3年度決算の承認について ・令和4年度第1次補正資金収支予算(案)の承認について ・理事の選任について
第3回	令和5年 1月24日(火) (決議の省略による)	<ul style="list-style-type: none"> ・補充理事の選任について
第4回	2月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の変更について ・令和4年度第2次補正資金収支予算(案)の承認について
第5回	3月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第3次補正資金収支予算(案)の承認について ・令和5年度事業計画(案)の承認について ・令和5年度資金収支予算(案)の承認について ・令和5年度役員報酬の総額について

		・滋賀県運営適正化委員会の勧告について
--	--	---------------------

(評議員選任解任委員会)

開催日		議案
第1回	令和4年 6月10日(金)	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第2回	令和5年 1月13日(金)	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について
第3回	3月17日(木)	・評議員退任届の受理について ・補充評議員の選任について

○他機関の会議への参画

草津市市政功労者表彰選考委員会、草津市民生委員推薦会、草津市人権擁護審議会、草津市健康づくり推進協議会、草津市ごみ問題を考える草津市民会議、草津市人権擁護推進協議会、草津市同和教育推進協議会、草津市自殺対策推進会議、草津市福祉有償運送運営協議会、草津市地域包括支援センター運営協議会、草津市障害者施策推進審議会、草津市特定旅館建築規制審議会、草津市あんしんいきいきプラン委員会、草津市隣保館等運営審議会、草津市青少年育成市民会議、草津市要保護児童地域対策協議会、草津市発達障害者等支援システム推進協議会、日本赤十字社滋賀県支部評議員会、社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員会、草津市平和祈念のつどい実行委員会、草津市地域福祉推進市民委員会、草津市住宅政策審議会、湖南地域社会福祉連絡協議会、滋賀県市町社会福祉協議会会長会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会

○役員研修会1

湖南地域社会福祉連絡協議会役職員研修会

演題：権利擁護事業と成年後見制度

講師：日比谷南法律事務所 弁護士 平田厚さん

開催日：令和5年2月3日(金)

場所：守山市すこやかセンター

参加者：3名

○役員研修会2

滋賀県市町社会福祉協議会会長会 トップセミナー

演題：「社会福祉協議会と社会福祉施設との協働について」

講師：武庫川女子大学 教授 松端克文さん

演題：事例報告「大津市社協施設連絡会の取組について」

講師：大津市社会福祉協議会地域福祉課長 井ノ口浩士さん

開催日：令和5年3月1日(水)

場所：県立長寿社会福祉センター

参加者：3名

●職員会議、職員研修の開催

毎月、生活支援体制整備推進事業や地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンターの運営等について職員会議を行いました。

また、外部研修として、県社協主催の研修等に参加し職員としての知識・援助技術の充実に努めました。